

研究業績一覽

- 昭和52年 八世紀における日本の外交と東アジアの情勢―渤海との関係を中心として 国史学103
 怡土城に関する一考察 続日本紀研究 194
- 昭和54年 渤海王権の一考察―東宮制を中心として 旗田魏先生古稀記念会編『朝鮮歴史論集』上（龍溪書舎）
 渤海国家の史的展開と国際関係 朝鮮史研究会論文集16
- 七・八世紀の大宰府―対外関係を中心として 国学院雑誌80―11
- 昭和55年 古代日本と東アジア―渤海との関係を中心にして 法政大学大学院紀要4
 寺家遺跡の歴史的性格 歴史研究238
- 昭和56年 古代の山城 歴史研究240
- 『三國史記』と日本史研究―『三國史記』高麗本の発見によせて 歴史研究246
 木簡とその課題 歴史研究251
- 昭和57年 1981年の歴史学界―日本 古代二 史学雑誌91―5
- 昭和58年 古代東アジア諸国の国際意識 歴史学研究 別冊特集 東アジア世界の再編と民衆意識
 毗曇の乱《新羅》 歴史読本28―19
- 昭和59年 記紀と「中華思想」 国文学解釈と教材の研究29―11

- 昭和60年 仲麻呂政権の新羅征討計画の狙い 歴史読本30―11
第27代宣化天皇〜第32代崇峻天皇 歴史と旅12―10
- 渤海国中台省牒の基礎的研究 林陸朗先生還暦記念会編『日本古代の政治と制度』（統群書類従完成会）
渤海国中台省牒の位置について 日本歴史451
- 藤原仲麻呂政権と新羅征討計画 韓国文化8―1
- 渤海使の軌跡―大陸からの文化使節 歴史読本32―11
- 渤海通事の研究 栃木史学2
- 律令制下の武蔵国／律令制の変質と武蔵国 国立市史編さん委員会編『国立市史』（国立市）
1988年の歴史学界―日本古代三 史学雑誌98―5
- 平成元年 翻刻『大日本古文書』未収「常疏紙充帳」（高田淳氏と共著） 栃木史学5
- 平成3年 遣隋使／遣唐使 林陸朗・村上直・高橋正彦・鳥海靖編『日本史総合辞典』（東京書籍）
- 平成4年 東北アジアの動向と古代日本 中村晃一・鈴木靖民編『新版古代の日本』2（角川書店）
- 平成5年 華夷異思想の諸相 荒野泰典・石井正敏・村井章介編『アジアのなかの日本史』V（東大出版会）
渤海遣跡再訪 栃木史学7
- 平成6年 九・一〇世紀の国際関係を探る 吉村武彦・吉岡眞之編『新視点日本の歴史』3（新人物往來社）
渤海の興亡と日本との関係―東北アジアのなかの日渤海渉 『越の海、波濤の海』（北陸電力）
海東の盛国「渤海」の史的展開 『松原客館の謎にせまる―古代敦賀と東アジア』（気比史学会）
渤海国上京竜泉府出土の和同開珎 『北方ユーラシア学会会報』4

平成7年 ロシア沿海地方の渤海・女真の遺跡を訪ねて 栃木史学9

日本と渤海国との交流 佐藤和彦・佐々木虔一・坂本昇編 『地図でたどる日本史』（東京堂出版）

日本における渤海史研究の現状 『環日本海論叢』8

平成8年 欽明天皇―仏教の伝来 歴史と旅23―2

渤海をめぐる研究状況 歴史評論555

日本における渤海史研究の成果と課題 林陸朗・鈴木靖民編 『日本古代の国家と祭儀』（雄山閣出版）

平成9年 雅楽「新靺鞨」にみる古代日本と東北アジア 武田幸男編 『朝鮮社会の史的展開と東アジア』（山川出版社）

日本と渤海・靺鞨との交流―日本海・オホシク海域圏と船 村井章介・佐藤信・吉田伸之編 『境界の日本史』（山川出版社）
朝鮮半島の烽燧 シンポジウム「古代国家とのろし」宇都宮市実行委員会・平川南・鈴木靖民編

『烽の道―古代国家の通信システム』（青木書店）

平成10年 ロシアの渤海遺跡調査 斯花31

渤海の王都と領域支配 古代文化50―9

渤海国文化点描 しにか9―9

渤海と日本の交流 歴史と地理519

平成11年 「唐碑亭」、すなわち「鴻臚井の碑」をめぐって 朝鮮文化研究6

新羅王権と新羅・黒水靺鞨・日本との関係 アジア遊学6

渤海史研究と近代日本 駿台史学108

平成12年 出土文字資料にみる古代の東アジア諸国と日本

- 平成13年 『掘り出された「文字」―出土文字資料からさぐる古代の下野』（栃木県立博物館）
- 『渤海と古代の日本』（校倉書房）
- 九・十世紀の日本の国際関係 アジア遊学 26
- 平成14年 古代日本と蝦夷・隼人、東アジア諸国 佐藤信編『日本の時代史』4（吉川弘文館）
- 渤海と古代日本―日本海を結ぶ交流 青柳正規・ロナルド・トビ編『日本海学の新世紀 環流文化と美』（角川書店飛鳥企画）
- 平成15年 （講演録）日本のなかの渤海文化 渤海国交流研究センター編集・監修『渤海国交流の謎を探る』（富来町）
- 渤海の交易―朝貢・互市、そして三彩 佐藤信編『日本と渤海の古代史』（山川出版社）
- 律令国家の誕生と下毛野国―西下谷田遺跡と上神主・茂原遺跡を中心に
- 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館編『律令国家の誕生と下野国』（栃木県教育委員会）
- 平成17年 円仁の足跡を訪ねて―山東半島 栃木史学 19
- 律令国家の誕生と下野国 大金宣亮氏追悼論文集刊行会編『古代東国の考古学』（慶友社）
- 渤海の遣唐使 専修大学・西北大学共同プロジェクト編
- 『遣唐使の見た中国と日本―新発見「井真成墓誌」から何がわかるか』（朝日新聞社）
- 藤原清河―望郷の遣唐使 栄原永遠男編『古代の人物』3（清文堂出版）
- 最澄の将来自録と遣唐使の印 栃木史学 20
- 平成18年 古代日本海の交流 小林昌三監修／熊田亮介・坂井秀弥編『日本海域歴史大系』2（清文堂出版）
- 『東亜考古学会と近代日本と東アジア史研究』
- 平成19年 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書20004―2006（國學院大學栃木短期大学）
- 遣唐使時代における渤海の位置 東海史学 41

平成20年 渤海と古代日本 日本海学推進機構編『日本海学の世紀』8（角川学芸出版）

平成21年 下野国の慈覚大師円仁ゆかりの史跡／入唐求法の僧、円仁 鈴木靖民編『円仁とその時代』（高志書院）

渤海の都城 妹尾達彦編『都市と環境の歴史学』第2集（中央大学文学部東洋史学研究室）

渤海の都城制度 妹尾達彦編『都市と環境の歴史学』第4集（中央大学文学部東洋史学研究室）

北関東の古代社会と渡来人・蝦夷 国史学198

発掘調査報告書『東京城』の刊行をめぐって 田村晃一先生喜寿記念論文集刊行会編『扶桑』（青山考古学会）

雅楽《新鞆鞆》にみる古代日本と東北アジア 神野藤昭夫・多忠輝監修『越境する雅楽文化』（書肆フローラ）

地域研究 古代の日本海交流に学ぶ―渤海史研究から見た東アジア平和への道 世界平和研究35―4

平成22年 渤海の遣唐使 東アジア世界史研究センター年報4

「日本紀の御局」と呼ばれた紫式部 林田孝和ほか著『源氏物語の魅力』（おうふう）

東亜考古学会の東京城調査 菊池俊彦編『北東アジアの歴史と文化』（北海道大学出版会）

平成23年 高山法王寺舍利蔵誌と円仁

氣質澤保規編『洛陽学国際シンポジウム報告論文集 東アジアにおける洛陽の位置』（汲古書院）

中国河南省登封市法王寺所蔵「釈迦舍利蔵誌」の調査―第一次・第二次調査を中心に 栃木史学25

渤海史研究と朝鮮史 朝鮮史研究会論文集49

法王寺釈迦舍利蔵誌の史料性と解釈 鈴木靖民編『円仁と石刻の史料学―法王寺釈迦舍利蔵誌』（高志書院）

平成24年 大祚栄の「渤海郡王」冊封をめぐって 鈴木靖民編『日本古代の王権と東アジア』（吉川弘文館）

入唐留学生吉備真備 國學院大學栃木短期大学編『歴史のなかの人間』（おうふう）

- 平成25年
法王寺釈迦舍利藏誌の史料性と解釈 平勢隆郎・塩沢裕仁編『関野貞大陸調査と現在』（東京大学東洋文化研究所）
クラスキノ古城と塩州 清水信行研究代表者『論集 沿海州渤海古城クラスキノ古城の機能と性格』
- 平成26年
文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書2010-2012（青山学院大学文学部史学科）
（講演録）『海東の盛国渤海』の歴史 石川県立歴史博物館編『石川の歴史遺産セミナー』講演録 第15回―第17回（能登）（石川県立歴史博物館）
慈覚大師円仁 國學院大學栃木短期大学編『栃木文化への誘い』（下野新聞社）
（講演録）古代の東アジアの動向と鞠智城 熊本県教育委員会編『鞠智城シンポジウム成果報告書2013』（熊本県教育委員会）
遣唐使の航路 栃木史学28
- 平成28年
円仁と『法華経』 國學院大學栃木短期大学日本文化研究1
- 平成29年
後期新羅と渤海（李成市氏・橋本繁氏と共著） 李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編『世界歴史大系 朝鮮史1』（山川出版社）
林陸朗先生の思い出 国史学223
- 令和2年
東亜考古学会の渤海研究と満州進出 歴史学研究997
- 令和3年
クラスキノ古城と塩州 清水信行・鈴木靖民編『渤海の古城と国際交流』（勉誠出版）
現代につながる日中朝の人物交流―慈覚大師円仁の『入唐求法巡礼行記』を読む 世界平和研究47-3
- 【監修】
- 平成15年～17年 小西聖一『NHKにんげん日本史』全二〇巻（理論社）
- 平成21年 NHK「見える歴史」取材班『見える歴史』（中経出版）
- 平成26年 NHK「歴史にドキリ」制作班『NHK歴史にドキリ 獅童が変身★日本を築いた52人』（NHK出版）
- 平成28年 NHK「10min.ボックス」制作班編『10分で読む日本の歴史』（岩波書店）